

第2学年 英語科学習指導案

令和5年2月10日(金)

第5校時 13:40~14:30

第2学年2組 33名

指導者 葛原 彰

1. 単元名 豊後大野市での休日の楽しみ方をダニエル先生に提案しよう

(NEW CROWN ENGLISH SERIES 2 Lesson 7 *Rakugo Goes Overseas*)

2. 単元について

本単元は、日本の伝統文化である落語を題材として扱っている。その中で、大島希巳江さん(現神奈川大学教授)が落語を世界に広める理由やその活動における苦労等についても学習する。HanaとMarkのやり取りの場面から提案するための表現(Why don't you?など)を学び、大島さんがインタビューに答える場面からは自分の考えを理由とともに述べることの大切さに気付くことができる。

文法事項としては、現在完了形の完了用法と経験用法を学習する。完了用法の学習により動作の完了を表現することができるようになり、経験用法の学習により自分の経験を述べたり、相手の経験について尋ねたりすることが可能となるので、自己表現の幅を広げることができる言語材料である。本単元ではALTのダニエル先生の困り(豊後大野市での休日の楽しみ方)を解決するという言語活動を設定し、そのために必要な知識や思考力、判断力、表現力等を身に付けさせたいと考える。

本学級の生徒は、「話すこと」の苦手意識が強い。アンケート調査では6割以上の生徒が「英語が嫌い」「英語に対して苦手意識がある」と回答し、その理由は「会話が難しい」「どう表現してよいのか分からない」「話を順序立てて話すことが苦手」という記述が多かった。英検 IBA の結果においても、リーディング・リスニング・スピーキングがライティングに比べて低かった。そのため、1 学期は一問一答の会話から始め、徐々に理由を付け加えさせたり、相手の発言に対して質問させたりする練習をし、2 学期は 3 文以上の英語で話すことに挑戦させた。生徒たちは少しずつ英語を話すことに抵抗感が少なくなり、ジェスチャーや相づち等を使って英語を話すことができるようになってきたが、まだまだ英語を話すことが苦手な生徒が多い。そのため、発表内容を吟味し、内容を整理した上で、自信をもって話す経験が必要である。

指導にあたっては、上に述べた生徒の課題に対応するため、以下の2点をポイントに挙げる。

①単元を通して相手意識・目的意識を大切に、ALT のダニエル先生の目線で必要な情報を整理させ、プレゼンテーションの内容を考えさせる。具体的には、第1時にダニエル先生が休日の過ごし方で悩んでいることや、豊後大野市ですでに経験したこと等を生徒に伝える。生徒には「どう表現すれば伝わりやすいか」「どう順序立てて話せば説得力があるか」等の視点を与え、さらにペアやグループでの意見交流を積極的に行わせる。そうすることで、生徒の主体性も引き出したい。ICTも必要に応じて積極的に活用する。内容は大きく以下の4つに分類されるであろう。

自然に関すること	ジオパーク・川釣り・滝・キャンプ・鍾乳洞・花見等
スポーツに関すること	カヌー・テニス・野球・ロッククライミング等
食に関すること	果物・野菜・スイーツ・肉料理・魚料理等
祭りに関すること	花火・神楽・らいてん祭り等

②「発表」と「やり取り」を両輪として「話すこと」の力を伸ばすことができるよう、帯活動としてコミュニケーション活動を毎時間設定する。現在完了形や提案するための表現をペアトークで使用させたり、ペアやグループ活動の中で使わせたり教え合ったりする機会をもつ。基本的な表現の確認については、教科書本文を活用する。そうすることで基本的な知識・技能が定着し、生徒が自信をもって英語を話すことができるように導きたい。

3. 単元の目標

ALTのダニエル先生に豊後大野市での生活をより楽しんでもらうために(ダニエル先生の困りを解決するために)、豊後大野市での休日の楽しみ方についての自分の考えや理由を、自分で調べたことや仲間からのアドバイスをもとに話すことができるようにする。

4. 関連する学習指導要領における領域別目標

話すこと [発表]	イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。
--------------	---

5. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<知識> 現在完了形の特徴やきまり、提案するための表現を理解している。 <技能> 豊後大野市での休日の楽しみ方についての自分の考えや理由を、現在完了形や提案するための表現等を用いて話す技能を身に付けている。	ALTのダニエル先生に豊後大野市での生活をより楽しんでもらうために(ダニエル先生の困りを解決するために)、豊後大野市での休日の楽しみ方についての自分の考えや理由を、自分で調べたことや仲間からのアドバイスをもとに話している。	ALTのダニエル先生に豊後大野市での生活をより楽しんでもらうために(ダニエル先生の困りを解決するために)、豊後大野市での休日の楽しみ方についての自分の考えや理由を、自分で調べたことや仲間からのアドバイスをもとに話そうとしている。

6. 指導と評価の計画(全8時間 本時は7/8)

	学習活動	知	思	主	評価規準
1	○ダニエル先生の悩みについて聞き、提案する休日の過ごし方を選び、自分の体験について表にまとめる。 ○現在完了形(完了用法)の特徴やきまりを理解する。	○			<知識> 現在完了形(完了用法)の特徴やきまりについて理解している。【ワークシート】
2	○自分が豊後大野市で体験した内容をタブレットの写真を用いながら現在完了を使って簡単に説明する。 ○現在完了形(経験用法)の特徴やきまりを理解する。	○			<知識> 現在完了形(経験用法)の特徴やきまりについて理解している。【ワークシート】
3	○GET①の本文を理解し、自分の体験を説明し、Why don't you?を使って相手に勧める。	◎			<知識> 現在完了形の特徴やきまり、提案するための表現を理解している。 <技能> 豊後大野市での休日の楽しみ方についての自分の考えや理由を、現在完了形や提案するための表現等を用いて話す技能を身に付けている。【ワークシート】
4	○GET②の本文を理解し、相手に自分と同じ経験があるかを Have	◎			<知識> 現在完了形の特徴やきまり、提案するための表現を理解し

	you ever?を使って質問をする。				ている。 <技能> 豊後大野市での休日の楽しみ方についての自分の考えや理由を、現在完了形や提案するための表現等を用いて話す技能を身に付けている。【ワークシート】
5	○READ の本文を理解し、記事の概要や要点を捉える。 ○相手に伝わりやすい発表の構成を学ぶ。		○	○	○インタビューが掲載された新聞(READ 本文)から記事の概要や要点を捉えている。 ○READ 本文を参考にしながら、豊後大野市での休日の楽しみ方について、ダニエル先生に伝わりやすい発表の構成を考えている。【ワークシート】
6	○今までの学習を振り返り、発表の原稿を完成させる。		○	○	ALT のダニエル先生に豊後大野市での生活をより楽しんでもらうために、豊後大野市での休日の楽しみ方について、伝わりやすい発表の構成や内容を考えている。【ワークシート】
7 本 時	○提案内容を班の仲間と話し合い、改善する。		◎	◎	<思考・判断・表現> «ALT のダニエル先生に豊後大野市での生活をより楽しんでもらうために(ダニエル先生の困りを解決するために)、豊後大野市での休日の楽しみ方についての自分の考えや理由を、自分で調べたことや仲間からのアドバイスをもとに»話している。【記述分析】【行動観察】 <主体的に学習に取り組む態度> «同上»話そうとしている。【記述分析】【行動観察】
8	○ダニエル先生に休日の過ごし方を提案する。	◎	◎	◎	<知識> 現在完了形の特徴やきまり、提案するための表現を理解している。 <技能> 豊後大野市での休日の楽しみ方についての自分の考えや理由を、現在完了形や提案するための表現等を用いて話す技能を身に付けている。【映像分析】 <思考・判断・表現> «ALT のダニエル先生に豊後大野市での生活をより楽しんでもらうために(ダニエル先生の困りを解決するために)、豊後大野市での休日の楽しみ方についての自分の考えや理由を、自分で調べたことや仲間からのアドバイスをもとに»話している。【映像分析】 <主体的に学習に取り組む態度> «同上»話そうとしている。【映像分析】
後 日	ペーパーテスト(定期テスト)	◎	◎	◎	

7. 本時案

(1) 題目 ダニエル先生への提案をより良いものにしよう

(2) ねらい 豊後大野市での休日の楽しみ方について、ダニエル先生への提案を班の仲間と紹介し合い、「自分の体験を言えているか」「ダニエル先生にとって魅力的な提案になっているか」という視点から行うアドバイスをもとに提案を改善する活動を通して、ダニエル先生にとってより魅力的なプレゼンテーションにすることができるようにする。

(3) 展開

学習活動	時間	指導内容及び、指導上の留意点	評価規準
1. Review	2	○本時で使う大切な表現を、パワーポイントを用いて全体で確認させる。	
2. Warm up	6	○単元で学習する表現を使って、異なるペアで簡単な英会話を3回行わせる。(自己決定)	
3. Check today's goal	1	○本時のめあてと授業の流れを確認させる。 ・ダニエル先生の悩みと今までの学習の振り返りを行い、今日の授業のめあてと流れを確認させる。	
めあて 自分の提案を班の仲間と共有し、ダニエル先生にとってより魅力的なものにしよう			
4. Practice	4	○前時に作った提案文をペアで練習させる。 ・1人40秒で2回行う。	
5. Group work	24	○グループに個人の案を発表させ、より良い発表内容になるようにお互いにアドバイスをさせる。(自己存在感) ・4人グループを作らせる。 ・班員1人に発表させる。(40秒) ・班員からのアドバイスをもらう。(2分) 【アドバイスの視点】 ①自分の体験を言えているか。 ②ダニエル先生にとって魅力的な提案になっているか。 (場所・適切な時間・費用・その場所の魅力・活動内容) ・アドバイスされた内容を英訳させる。(2分) (この流れを4度繰り返す)	<思考・判断・表現> «ALTのダニエル先生に豊後大野市での生活をより楽しんでもらうために(ダニエル先生の困りを解決するために)、豊後大野市での休日の楽しみ方についての自分の考えや理由を、自分で調べたことや仲間からのアドバイスをもとに»話している。
6. Reflection	10	○学習活動を振り返らせる。(共感的な人間関係) ・代表の生徒に発表をさせて、発表の良い点をクラス全体で共有する。 ・アドバイスを受けてさらに良くなった発表を、もう一度班で発表させる。	【記述分析】【行動観察】 <主体的に学習に取り組む態度> «同上»話そうとしている。
	3	○振り返りシートに記入させ、発表させる。	【記述分析】【行動観察】
<p>【生徒に期待する振り返りの例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班の仲間からのアドバイスを受けて、よりダニエル先生にとって魅力的な内容にすることができた。 ・友だちの表現が分かりやすく、自分の発表に取り入れることができた。 			

--	--	--	--